

栗山町立小中学校適正配置計画説明会 質疑応答

No.	会場	質問内容等	回答者	回答
1	市街地・北部地域 会場	私は基本的には統合しない方が良いなという気持ちでいた者の1人です。角田や継立は子どもが少なくても、子どもを地域で育てる意識がすごく大事だなと、それはまちづくりにつながるなと思っていました。なので、できれば統合せずに、小さくても最後の1人まで学校が残っていたら良いなという気持ちではまだいます。 でも、お金がかかるとか老朽化であるとか、色々な仕方がないかなという気にもなってるんですが、子どもたちに選ぶ権利は与えられないものなのかなと。本州でもありますよね。最後の1人になってるけど、僕はここを選びましたと1人でいた子もいるし、大きな世界で子どもたちを揉むのも大事だけど、小さい中で自分の考えを育てたり形作ったりと、大きい中に入って適応できない子も中にはいますよね。統合していくけれど、段階的に子どもたちには選べるような手段ってないのかなと、今の説明を聞いて思ったのですが、どうでしょうか。	町長	角田、継立地域の方々からは今のようなご意見もありました。そのような中で、2年後に継立小学校の入学人数が1名になるということで、これは選ぶ選ばないということではなく、どうしてもそういう事態になるということは今わかっていることです。6年間で同級生がいない、そして、少人数、1人の中で、先生方、地域の方に育てていただくということもあるのかもしれませんが、その子どもの立場に立った時に、同級生がいて切磋琢磨し、この6年間で成長して、次のステップである中学校、高校へと向かっていくことが、1番望ましい形ではないかと思っております。 このことは、子どもたちが選ぶというよりは、先ほど申し上げました通り、私たちの世代がこの時代を担っているわけでありますから、その責任の中で、子どもたちにとって学習環境がどういうものが良いかというところを示してあげる、導くということが我々の役割ではないかと思っておりますので、今のご意見も承るということで、私からの回答にさせていただきたいと思います。
			教育長	一言付け加えますと、様々な段階という話がございました。この部分については、日本中どここの地域も大問題として、コロナ禍の間に不登校生徒児童がかなり増えています。空知管内でも、中学校で3割の不登校を抱えてる学校も出てきてるぐらいです。本町の場合は、そういう事態に陥ってないので、先生方、地域の皆さんのご協力のもとコロナ禍以前に人数的には減ってきているところになりますが、このことについて、先ほどの説明の中にありました小中一貫の良さを活かしながら、その子ども、子どものケースに合わせた居場所作りはしなければならないと教育委員会として考えてます。例えば、今でしたら家庭でも同じ授業がリモートでできる方法もありますし、教育委員会で行う、子育て支援センターで行う、児童センターで行う、様々なケースを作ることができます。 その児童生徒1人1人のニーズになるべく即した内容を、今から計画立てていかなければならないと検討委員会、地域の皆さんからの意見を聞いた時に、課題として教育委員会としては抑えているところです。 良いところもあり、悪いところもあるかもしれませんが、より良いところを最大公約数として集めて進めていきたいと私としては受け止めているところです。
2	中部地域 会場	検討委員会が設立されましたが、どういう方々で構成された、検討委員会なのか教えていただきたいです。	学校教育課 主幹	検討委員につきましては、全部で18名の構成で、まず教育委員が入っています。それと、地域の代表ということで、町内連合会長、中部地区からは角田連合町内会長、南部地区から継立連合町内会長と日出連合町内会長。それと、4校の小中学校のPTAの代表の方に入っていただいています。それと、将来的にPTAになるということで、子育て支援センターの利用者代表の方にも入っていただいています。あとは、学校の校長先生、農村地域の代表ということで農協の理事の方、まちづくりという観点でJCの代表の方、最後に学識経験者ということで北海道文教大学の教授に入っていただき、委員長を務めていただきました。
3	中部地域 会場	これはあくまでも公募ではなくて、教育委員会の方でお願いしたということになるのでしょうか。	学校教育課 主幹	はいそうです。教育、地域、保護者のそれぞれの分野からバランスよくお願いしました。
4	中部地域 会場	会議は4回開催したのですか。	学校教育課 主幹	はいそうです。会議として集まっていたいたのは4回ですが、その間に意見をまとめていただくなどしていますので、あくまで会議として集まった回数が4回ということです。
5	中部地域 会場	それからもう一つです。スライドには私たちが考える上でとても大事なことがたくさん入っていましたが、メモが追いつきません。なんとかスライドの資料が欲しいなと思います。	学校教育課 主幹	わかりました、印刷してお届けに上がります。この他に計画も全文閲覧できるようになっていますので、後日お届けにあがります。
6	中部地域 会場	これから統廃合した学校に通うことになるのですが、学童のことやスクールバスの利用法などは「決定しました。」ということではなくて、保護者が意見を言える会がこれから開かれるという認識でよいのでしょうか？	学校教育課 主幹	はいそうです。対象になる方から事前にお話を聞きながら決めていきたいと思いますので、その時はよろしくお願いします。

栗山町立小中学校適正配置計画説明会 質疑応答

No.	会場	質問内容等	回答者	回答
7	中部地域 会場	前住所で統廃合の経験があったので2年は短いかなと思う。具体的にいろいろ詰めていかなければならないことがあると思いますし、保護者の意見は重要だと思うので、そういう機会を増やす、例えばアンケートもどんどんやっていただきたいと思います。	教育長	今の2年という話ですが、私が栗山小学校の校長だった時に、中学校1年生時点で3小学校のスタート位置が一致しないということで小小連携という取り組みをさせていただきました。中学校1年生の段階で同じスタートラインに立てるように努力して頑張っていきたいということで、教育課程の内容の見直しについて、たまたまその時代からやっていました。他の地域では、そういうことも含めて2年半から3年かけて統廃合の話を進めていきます。地域とPTAの皆さんからできるだけ早く進めて欲しいと言われています。私が校長だった時の教頭や主幹教諭が、今、管理職になって町内の学校に配置されており、他の地域では必要な準備を既にやってきました。そのようなことを考えた時に2年半から3年は必要ないのですが、きちんと確立させていきたいので2年間の期間を取らせていただき、PTAの皆さんには申し訳ありませんが、逆に長くさせてもらったという経緯があります。そういうことも含めて、2年で行えるだろうという判断です。
8	中部地域 会場	10年位前に中学校の統合が始まった時に、いつか小学校の統合も来るのだろうなと思っていましたが、ついに来たのかなと思っています。説明の中で3校に1校に集約するというのも、時代の流れと少子化というところでは致し方ないかなと思うのですが、説明を聞いた中で、まちづくり懇談会の時にも少し話をしたと思いますが、栗山小学校は栗山町の北の果てにあって、先ほどのスライドを見ても南の端の1軒はたぶん滝下地域だと思います。単純に距離だけの話をしたら栗山小学校まで片道約23km、岩見沢駅から栗山小学校で約19km、滝下から角田小学校も約19kmです。仮に滝下地域に小学校の低学年の子たちがいた場合、スクールバスで手厚くしてもこの距離を毎日通学することについて、地域の方はどう理解したのか、それとも諦めて仕方ないねと考えているのか、その辺の地域的な話を知りたい。もう1点が、小中一貫にしていって中で新校舎を検討していて、長沼町でいうと80億円で町の負担が3割という説明でした。例えば、財政的な問題という話でも先ほど町長の説明にあったのですが、建築を後回しにした時に、仮に今だと80億円で校舎が建つけれど、5年から10年後になった時に、100億円から120億円となった場合に建てられなくなるのではないかと思います。その辺も、どう考えているのか聞きたいと思います。学校の場所を栗山町の間である角田や継立にもってこようかというところは難しいと思うので、財政は検討しながら、場所は先ほどのスライドの円の中になるのかなと思いますが、なるべく中部地区、南部地区に近いところにするのかどうかも含めてお聞きしたいところです。	町長	通学の関係について、これから通学手段を協議していくということになります。この約19kmという距離はバスで通学した場合は30分位かかる可能性もありますので、低学年の子どもがバスに乗って通学し、勉強ができるような体制になるかどうかというところは、我々としては十分に配慮しなければならないと思っております。バスで巡回するのが良いのか、遠いところのお子さんにはピンポイントでタクシーのような手段を確保していくのが良いのかなど、様々な方法があると思いますので、ここにつきましては重要な部分と思っております。子どもたちの負担にならないような形をこれからみなさんと議論させていただきたいと思っております。 それと、新しい学校の整備の関係ですが、先ほど少し私の方で事業費の関係や、町の持ち出しの関係をお話しさせていただきました。私自身も、最新の素晴らしい教育環境の中で学ばせてあげたいとか、今の老朽化の状況を考えると早期に新校舎を建設したいという考え方は保護者の皆さんと同じように持っております。しかし、私としては町財政を預かる立場ですので、町全体のことを考えて判断する必要があります。どの位の規模の学校を作るのかということから始まりますので、この事業費の精査も必要です。栗山小学校校舎の法的な耐用年数は47年であります。47年の耐用年数が経ったからといって、すぐどうかなるということではないのですが、色々なところに痛みが出てきています。そういったところも踏まえて、準備はしていきたいと思っております。そのような中で町の持ち出しとなるお金をどのように調達していくかは、これから私どもがきちんと考えていかなければならないことだと思っております。色々なサービスを受けている町民の方がいらっしゃるわけですから、学校をすることによって直接的に影響の出るような形にはなるべくしないようにするというのが一つの思いとしてあります。 しっかりと積立をしてお金を貯めなければ新しい学校を作れないという訳ではありませんけれども、ある程度お金を用意した段階で、実施時期・整備時期・規模を含めて判断していきたいと思います。 保全をしていく上での修繕コストを考えた場合、どうなのかというご意見もありましたが、まだ新築自体は先になるかなと思っております。その間は、子どもたちが安全安心に学校で学べるよう修繕するところはしっかりやっていきたいと思っておりますし、その間に準備もしていきたいと思っております。建設場所については、これから検討することです。今、中部・南部地区になるべく近いところというお話もありましたが、これから色々なご意見をいただきながら決定をしていくお話と思います。そこについても今の段階では、この程度しか答えできませんが、今はこのような考え方でいるということを今日は共有していただければと思います。まだ、いつからやれるとかは明言できませんが、これから財政の組み立てをし直す必要がありますので、その辺は詰めていきたいと思います。
			教育長	一般的なケースということで、まずスクールバスですが大体45分から50分以内を目途に小学校は運行しております。ただ、私が前任校でいた大きい町で、私も一緒に子どもたちのスクールバスに乗ってみました、低学年は50分だと寝ていました。栗山町の場合は、それよりは若干時間は短いですが、先ほど町長が仰っていただいていた個別のケースも含めて考えさせていただけるということなので、この辺りについては今後の準備委員会の方で議論されてくると思います。 それと、校舎の関係ですが、一般的にその時点の人数・クラス規模の学校しか建てられません。ですから、なるべくなら児童数等が多い時に建てるというのが理想です。それで先ほど町長がおっしゃったとおり、今後の財政の部分というのが非常に大きなウェイトになってきて、その推移と状況を見ながら、なるべく大きい形・充実した形という絵図を描いた方が良くかなと思っています。大きい絵図をきちんと描いて、そこから削っていく、町財政との均衡を取りながらどういう形が良いのかな決めていく方が良くかなと、他の地域を見て思います。 私はずっと管理職で色々な地域を回ってきましたが、あまりにも手を広げすぎて計画より数億円をはみ出ましたというところもたくさんありました。私の経験上、問題点等もわかりますので町長の意向にあわせられるように進めていきたいと思います。

栗山町立小中学校適正配置計画説明会 質疑応答

No.	会場	質問内容等	回答者	回答
9	中部地域 会場	おっしゃることはわかるのですが、例えば改修するのに、５０万から１００万で済むものだったら良いけれど、数千万円や数億円の話になると、そこまでコストをかけてそのタイミングで統廃合をするのはどうなのかなと。それであれば、少し前倒しで考えると、統合はしても良いですが、これは私の勝手の考えですが、一旦継立小学校と角田小学校を統合して、それを整備した上で建物を建てて統合とか、何かそういうワンクッションを置くとか、、今まで説明をしてきていると思いますが、先ほどの説明を聞いた中では少し急いでいるような。今、全てが１００％確定した話でない中で、そういう改修コストとかはまだ見えない部分で、蓋を開けたら改修するのに１億円から２億円という話に仮になったらどうなのかなと。先程お伝えしたように、後になるほど建築コストが上がります。町の財政が足りませんとなった時に、どうするのかという事まで考えて今後進めて欲しい。 小中一貫になるのは良いと思います。３校を１校にしていくのも必要だと思います。進んでいる道は良いですけど、経過の部分を慎重に進めていただければと思います。	町長	先ほど答えていなかったのでお答えしますが、新しい校舎を整備するまでの改修コストのお話についてであります。町では公共施設総合管理計画を持っており、そこには学校校舎からスポーツセンターなど、町が所有する全ての建物が対象に入っています。その建物の耐用年数や、例えば、外壁工事や、屋上防水などの大掛かりな改修をこの年度に実施する予定という計画を持っています。ただ、将来的に新しい建物を作るのに、それだけのお金をかけて実施するのかという問題もあるわけです。もし、新校舎の建設がある程度見えて来れば、計画どおり実施するのではなく保全だけの小規模な整備にとどめるとか技術的な調整はできると思います。今、ご心配な部分ということで指摘をいただきましたが、その辺についてもしっかりと計画を立てながら進めていきたいと思っております
10	中部地域 会場	地域から小学校がなくなるということがイメージできないです。小学校の近くに住んでいます。運動会の賑やかな声とか、放課後に子どもたちが道路を走っていく姿とかを見えています。地域のつながりが希薄になってきたと言われてはいますけど、子どもたちの姿を見たり、時々言葉を交わしたり、その地域の中での小学生との関わり方がわずかでも皆さんあると思います。小学校が一つになって、スクールバスで栗山小学校へ通うようになったら、地域の大人とかのつながりがさらに希薄になるのではないかなと思うのですが、どういうふうにお考えになっていますか。 検討委員会でいろいろ検討されたこととは思いますが、その辺りは、もっと私たちと話し合いを持っていただけないかなと思います。地域の学校というのは今まで何十年も皆さんと一緒に歩んできたと思います。決まりましたから令和９年からはなくなりますよというような感じがしています。	町長	この関係については、先ほど私もお話をさせていただきました。それぞれの地域にある角田小学校、継立小学校の子どもたちは、地域の皆さんに育てていただいて、そして、見守っていただいていたということは当然あるわけであります。それは町全体で子どもたちを育てていく、町の宝である子どもたちを今後も見守っていくということで、今まで来たわけであります。これが未来永劫続けば良いのしょうけども、これまで説明したとおり、児童生徒数がこれだけ急激に減少してきているという実態を踏まえた上で、地域のこともありますが、子どもたちにとってどういう環境が一番良いのかというところを我々大人は考えなければならぬと申し上げたいと思います。 ですから、地域から子どもたちがいなくなるというわけではありません。学校は一つになるかもしれませんが、学校が終われば地域に戻ってきますので、そういった地域活動の中で、子どもたちを育んであげられるような地域とのつながりを持たせていくことで、今心配されているような希薄化ということはないというふうに私自身は思っております。 いずれにしても、やはり子どもたちの健やかな成長や、より良い教育環境を作っていくということが、今我々がやらなければならないことだということでお答えをさせていただきたいと思います。ただ、これから進めていく中で、地域の方ともお話をさせていただくこともあろうかと思っておりますので、色々なお話を聞かせていただければと思っております。
11	中部地域 会場	ネガティブな統合ではなく特色ある学校を作ると言うけれども、栗山小学校がもう既に５０年くらい経っているのに、まず栗山小学校にそのまま吸収というのはネガティブな統合で、では何をやるかという時にそれは小中一貫である。それであれば、これは短期的なもので、それは可能なだろうと。 本当に将来を考えるのであれば、スライドにも出てきましたが、例えば、幼保小中高、それから専門学校。福祉の町を標榜しているのであれば、福祉の施設も文教福祉エリアみたいなことで、例えば、中里の辺りに何十町の広い土地を用意して、建物も幼稚園、保育園、小中学校、それから道立高校、介護福祉学校など資金を集めてまとめる。お金はかかるが、２０年から３０年先のことを考えて、そういったスケールの大きなものを考えてもらう方が良いのかなと思います。 今ある中学校の体育館古くて例えば改築には１０億かかると考えがあった場合、その場所に固定されてしまいます。それであれば、最初から計画的にスポーツセンター規模の建物を建ててしまえば、そこを中心にグラウンドと校舎が一体となったものを建て、１箇所に集中する方がより効率的でないかと、長期的に見るとそういうふう to 考えています。 ですから、今やろうとしているのはネガティブな統合ですけど、特色があることをするならそこまで考えて欲しいというのが正直な感想です。	町長	目指しているところは、そういうところだと思います。そこまで栗山町の財力でできるかどうかはわかりませんが、これから議論をして作っていくということは、みんなで考えていくということでもありますので、少しスケールの大きなお話でしたけども、参考にさせていただきたいと思います。

栗山町立小中学校適正配置計画説明会 質疑応答

No.	会場	質問内容等	回答者	回答
12	中部地域 会場	私は基本的にはできるだけ地域に学校を残して欲しいという考えです。ですから、一貫校を作るということは、もっと時間をかけて先になっても良いかなと思います。 それで、今言われたように、どこでもやっていない栗山町として独自のことをやっていくことをした方が良いような気もいたします。隣もあそこも一貫校になったから、栗山も一貫校ということではなくて、今おっしゃられたことは、なるほどなど、こういうことすれば、栗山独自の栗山らしい施設になるということ、私はすごく心にヒットしました。 私は、どうして一貫校がダメだかという、一貫校にして盛んに子どもの健やかな成長とか、公平公正の機会をつくると話していますが、私はそれぞれの学校でもできると思いますし、独自にやっていると思います。子どもの数は少なくても、やはり子どもの健やかな成長を願って、機会を与えてやっていると思います。人数が多くなればなるほどこれができづらくなると思います。小さいからできるというということもたくさんあります。ですから、私は、基本的にはもう少し時間をかけてやっていただければ良いと思っています。賛成ではない人もいる事もわかっていただきたいと思います。 色々聞いていると子どもが不在なんです。皆さんが都合の良いように大人が考えていることで、子どもが何十分もバスに乗せられて他所の学校行くことがどうなのかということ、子どもたちを置きっぱなしにして大人が考えていることばかりなので、できれば、もっと子どものことを考えて欲しいと思います。子どもに我慢だとか、仕方ないという大人の考えをできるだけなくして欲しい。 保育所がなくなっただけでも角田地域は寂しくなりました。そういうことを考えて、これぞ栗山の教育だということを作っていただければ、私もちょっと鼻が高くなるかなと思っています。 学校はやっぱ人間を育てるところですから、財政が厳しく、新しい学校を作るとしたらお金がかかるから今のうちからという考えも少し受け取れるところがありますが、そういうことは別にして、教育は本当にお金のかかることなので、まず子どものことを第一に考えていただいて、そして、栗山らしい独自の教育を進めてもらえたら、本当に町民としては嬉しいなと思っております。	教育長	栗山の教育という意味でかなり色を出していると私は思っています。私は「知・徳・体」という言葉を使っていません。知識尊重という考えも使っていません。「徳」を心の教育を第一にしたいということで一生懸命頑張っています。 もう一つは、角田・継立で学んでいることは、どうしても今カリキュラムが昔と違ってビチビチです。「これは絶対しなさい」と言われてる国語・算数・理科・社会は下回れないということもあります。その他の時間として、総合的な時間は各地域学校に任されている時間で、栗山町は最大限、自然教育や福祉教育、小中高介護福祉学校の連携をやっています。カリキュラムもできました。これからの高齢化社会に対して子どもたちに対応できる教育をしていきたいということで福祉教育もやっています。これは全国で栗山町だけです。こういうのも先輩方のお話を聞かせてもらった上で進めて、やっと形になってきています。ですから、これからの皆さんの意見を聞きながら、できるものはできるだけやってきたいと考えているところです。 1つ難点は、どうしてもこれからは人数少なくなっていくと、コンパクトにしていかなければならないという問題が出てきます。点在できません。数もたくさん設けられません。というのも維持管理という問題が出てきます。ですから、人口減少に耐えうるコンパクトな街を作るということは課題として出てくるものですから、その中で最大限、何を生かしていけば良いのか、これからの教育委員会に課せられた非常に大きな課題と考えています。 今言われた意見も含めて、教育委員会として、教育で子どもたちに還元できるものが、時間が限られた中で何ができるかということが続けていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。
13	南部地域 会場	今回説明した内容について、保護者に対してきちんと説明をして、理解を得ているのか教えて欲しい。	学校教育課 主幹	検討委員会では、各校長やＰＴＡ会長、地域の代表として、継立では喜多村会長、日出地区では草間会長にも入って頂き、子供たちにとって良い学習環境は何かということをメインに地域課題含めて検討を進めてきました。保護者の方全員がこの話を知っているのかというと、知らない方もいるかと思います。この後、全ての小学校で行う説明会にて説明をしていくという流れとなっています。
14	南部地域 会場	継立中学校が統合した時、私がちょうどＰＴＡ会長をやっていました。保護者の理解、バスの問題、地域の衰退が話に上がっていたが、重要なことは保護者の理解とバスの問題。バスの問題がクリアされないと保護者は理解が難しいと思います。みんながみんな理解するのは難しいと思うが、大体7割の保護者に理解頂けたら統合に進むのは致し方無い。 地域の衰退については、その時も話が出ていたが、第一優先は子どもの学ぶ環境を整備する、それが保護者の役割で、所管するのが教育委員会。地域の衰退はまた別の話だと考える。実際に、引っ越す方が出てくるかもしれないが、それとは分けて学校の教育現場を考えないといけない。懸念される点は、残った校舎とグラウンドをどのように管理していくのか。草だらけのグラウンドでだらしないのもどうかと思う。	町長	ありがとうございます。今ご指摘頂いたところは非常に重要なところと考えておりまして、3つほど重要なお話を頂きました。我々も保護者の皆さんのご意見と理解という部分について、これからしっかりと説明をしながら進めていかなくてはならないと考えておりますし、2点目の通学の問題につきまして、小さな子どもが長時間バスに乗って学校へ通ってそこでしっかりと学習が出来るのかという部分にも配慮をしなければならないと思っており、なるべく負担にならないように考えていく必要があると思っています。 また、地域の衰退の関係であります。私も南部地区の問題につきましては、非常に危惧している、心配している部分があります。今、地域公共交通、夕張市から来ているバスが廃線、減便が続いている問題。栗山町としても重要な南部地区の地域医療の拠点となっていた病院の問題。そして、学校統廃合により学校が無くなるという事で地域への影響が懸念されます。中学校の時にはかなり時間を要しましたが、校舎、グラウンドの活用につきましては、地域の皆さんと相談させて頂きながら進めていきたいと考えています。おっしゃる通り、これまでの懇談会の中で厳しいご意見もいただいております。例えば、子どもが不在の中、大人だけでこの問題を進めて良いのかというお話も頂いているのですが、やはり子どもに判断をさせるということよりも、今の時代を担っている私たちの責任の中で、子どもの学習環境を大人がしっかりと作っていく必要があるという思いであります。児童生徒数が減少していく中、難しい問題ではありますが、今後の事を考えて進めていきたいと思っています。

栗山町立小中学校適正配置計画説明会 質疑応答

No.	会場	質問内容等	回答者	回答
15	南部地域会場	保護者の立場として、仕方ないかなというのが正直なところ です。地域の衰退という話 がありますが、学校がある、ないという問題ではない と思います。ト ラブルがあつた際に、地域が監視できるという状況になつていないというのが現状だ と思います。要するに、誰かが見たとか、こんなことがあつたなど、地域として見られる環境にはなつていない。学校自体が機能している、していないかという話ではなく、何かあつたときに目撃者もいないという事で、子どもたちの安全という点で現状でも課題があるのかなと感じます。1 つ懸念があるとすれば、先ほどお話しが出ていたスクールバスの問題で、南部地区には新規就農の方もいらっしゃいますが、夫婦 2 人で来られて子どもを育てていく時に学校が近くにないという事は大変だということ。元々住まれていた方もいますが、新規就農の方は近場に身内がいらっしゃらないので、その部分に対する配慮があれば良いか と思います。	学校教育課主幹	今、お話し頂きました懸念される部分は、我々も考えている部分でして、スクールバスの問題、学童の問題含めて意見を頂いた部分をこちらでまとめて、具体的な案を地域の皆さんと相談させて頂きたい と思います。また、そのような機会の中でお気づきの点がありましたら、またお知らせ頂きたい と思います。
16	南部地域会場	令和 1 2 年度から子供が小学校にあがる保護者として、子どもの学習環境を考えると早急に統廃合を進めて欲しい と思います。先ほどの地域の衰退の話になりますが、継立地域の拠点という場所が大切だ と思います。この話は役場任せにする話ではない と思いますが、考えて頂けたら と思います。学校は栗山小学校に集約しても、子どもの居場所は南部地区にあつて欲しい と思います。子どもだけの話ではなく、お年寄りの方々も集まれるような場所、この部分が南部地区の拠点となる継立で考えて欲しい と思います。この点について、具体的なお話があれば教えて頂きたい と思います。	学校教育課主幹	この関係につきましても、ご意見を頂戴しております。先日の角田での説明会の際にも、地域で子どもたちを育ててきたという強い思いがあり、その中で栗山小学校に集約される事で子どもたちの声が聞こえなくなることが想像できないという切実な声があつたのも確かです。その際にもお話しさせて頂きましたが、学ぶ場としては 1 カ所に集約することになりますが、居住地としては地域に戻ってくるという事となりますので、中部地域の中心である角田地域、南部地域であれば継立地域を中心に、子どもたちの居場所、子どもたちを見守り、地域で育てていくという部分には変わりはないので、これからもこの部分についてはより一層地域で確立して頂きたい と思います。現在は育成会等でも縮小が進んでいる状況ですが、この環境を契機として地域の絆や取り組みを、町としても一緒に進めていきたい と思います。拠点という部分につきましては、現時点で具体的な話はできませんが、それぞれの地域が大切という思いですし、南中北全ての地域が大切と考えています。
17	南部地域会場	先ほど発言がありましたが、地域として子どもたちを見守る点は、我々が努力しなくてはいけない点だと思っています。ここにいる参加者みんなが同じ思いをもって地域活動に参加するという事が重要じゃないかなと思っています。その中で、統合した後いろいろな行事があるときに、学校を休めという訳ではないが部活動をその日は休んでよいなど、地域としても頑張りますが、学校側の配慮という点も町長にお願いしたい。	学校教育課主幹	本日、他の公務により欠席しておりますが、教育長にもお伝えさせていただきます。
18	継立小学校校区会場	適正配置計画と関係ない話かもしれませんが、プールはどうなるのか。プールも一つになってしまうのか。	教育長	まだその議論はしてないのですが、その辺りも、これから町民の皆さんと話しをしていかなければならない具体的な話の 1 つになってくると 思います。
19	継立小学校校区会場	要望として、栗山小学校校区の子と、角田、継立小学校校区の子で差が出ないように、放課後なり、休みの日に通えるような体制を考えていただければありがたい と思います。	教育長	仮に角田小学校のところにあるプール、それから継立小学校のところにあるプールを残した場合は、各地域のプールを使う。統合で一緒となった場合は、栗山小学校のプールを使うことも考えられますが、プールも老朽化が進んでいますので、それ自体を使うかどうかは議論をしなければならないです。使うということになれば、当然、休み中にプールに通う子どもたちがいるので、そういうことも検討の材料になってくるか と思います。
20	継立小学校校区会場	—	教育長	地域での説明会で話題が出ていましたが、滝下に住んでいる方が、1 番長距離になることを心配されていました。距離が 2 0 k m 程で、気象条件にもよりますが時間にすると夏場で大体 3 0 分、冬場ですと 4 0 分から 4 5 分かかります。私が教諭していた頃の学校で、私も一緒に子どもたちのスクールバスにりましたが、5 0 分ほど乗っておりました。1 年生の子は、後半疲れ果てて寝てしまっていたましたが、そういうことを実際に体験しています。また、町長も何か良い手立てはないかと、もう少し時間も短縮できる手はないかと話されてました。この時点で、こうするということは言えませんが、4 月以降に、具体的な話を進めていきます。

栗山町立小中学校適正配置計画説明会 質疑応答

No.	会場	質問内容等	回答者	回答
21	継立小学校区会場	計画はしたけども、細かいことはこれから4月以降で、第7次総合計画の令和12年までに終わらせる。合わせて小中学校の一貫教育も終わらせたいという希望というか考え方なのかなと受け取りました。ただ、建物に関して言えば、令和7年から検討が始まり、調査設計から実施設計があって、その後、施工して5年で間に合うのか。4月からゆっくり色々話し合っていきますということです、その辺が少し不安です。 統廃合は仕方ないと思います。この少子高齢化の時代に入り、それは当然かと思いました。昨日の継立地域での話の中でも、皆さん統廃合はやむを得ないと。それは私もそう理解しています。ただ、統廃合するのでも、小中一貫教育を実施するにあたり、最終的には義務教育学校を目指したいという大まかな目標があるならば、校舎はどうなるか？など色々難しいところがあると思います。 昨日の説明会にも参加したが、よく分からなかったので、色々調べてました。まず、期間の問題。あと、統廃合して小中一貫教育を令和9年度以降に始めるということですが、そこから建物が完璧に出来上がるまでのタイムラグ。それまで子どもたちはすごい不便な思いををすると思います。その期間の中にいる子どもたちは、結局、6・3年制のままで行って建物はそれぞれの校舎を改修して使い、最終的には中学校と小学校に近い位置に移さなければならないとか。そのままの場所でやるという可能性もあるかもしれないですが、そういうのも含めると、その期間の中で学ぶ子どもたちは、やっぱり苦労するのかなと。その辺が心配です。 今は細かい内容が全然決まってないので、なんとも言えませんが、できるだけその細かい内容を早く精査してもらって、情報として出していただかないと、こちらでも聞かれても質問もできない、そういう状況かと思っています。	教育長	2年間で統廃合をするという例が他にありません。栗山町はそのくらいスピーディーです。これはもう北海道全部を見ても2年間で統廃合できているところはないです。 なぜ栗山町ができるのかというと、私が校長時代、小小連携ということを始めました。この時は統廃合やることは全く考えおりません。ただ、その時の目的は、中学校に入学した時に、3校のスタートラインがバラバラなので、一緒にという思いが一つ。 もう一つは、中1ギャップが不登校につながるので、その対策としてです。その不登校につながる部分で1番多かったのが、小規模校から行った学校の子どもでした。ですから、小学校のうちから、集団を組んで、同じスタートラインになるべく立てるようにという計画を立て、例えば、小中一貫教育に取り組んだり、私の時は、栗山小学校で最初に始めたのがアイヌ学習であります。みんなで歌ったり、踊ったり楽器を弾いたりというところで、まず体を動かしながらでもやっていけば少しでも馴染んでいきます。 それから、コロナ後から不登校が非常に多く、尚且つ3校から中学校に集まるという複雑な要因、子ども同士の関係でもなかなか学校内でも原因が見つけられないということが今後また予想がされてきているということがあります。その中で、まずこの統廃合は唯一スピーディーにと考えております。 それと学校運営の問題について子どもが困るということについては無いと思って考えております。これは、例えば、由仁の学校は現在、小中一貫校を行っています。義務教育学校になったらメリットもたくさんありますが、離れた学校であってもメリット・デメリットがあります。一緒になってもメリット・デメリットがあります。そのデメリットをいかに減らした学校経営をしていくかということに主眼が当たるので、今はまだ話ができませんということになってしまうんですが。ただ、周りの学校は全て小中一貫校の方に向かっています。尚且つ、栗山町は他の学校が行う前から連携授業を沢山行ってきたということから言うとそんなに困り感はありません。学習内容で言えば、距離感と時間数を考えて小学校と中学校が離れていても連携は可能です。より機能的に学習内容は立てられる。町の有識者、専門家との交流も立てやすいです。 ただし、個別の部分でいくと、デメリットは増える可能性が高い。人数も多くなる。そこについては、今、様々な学校でリモート授業を行ったり、居場所づくりについても学級だけが居場所ではないという考え方になっています。ただし、1番大事にしていかなければならないのは、子ども1人1人の学習権でありますので、そういった部分で、より一層な支援が必要と考えます。例えば、保健室に行く子、家でやる子、教育委員会に来る子など、色々なバリエーションがあります。隣の学校に転校していった子もいます。逆に他の地区から栗山町に来て、居場所を作っている子もいます。 学習内容については、先ほど言った通り、より機能的になることは確かです。ただし、デメリットは当然で、そのデメリットをどう少しでも減らしていくかということについては、住民の皆さんと準備も含めながら進めてまいりたいと思います。
			学校教育課主幹	施設の関係に関しては、我々の方も既に色々情報を集めてはいるんですけども、4月に入ってからこれから考え始めますということではなく、順番としてこういう流れでやっていくということです。多分皆さんが1番気になり、ワクワクする部分かと思うので、そこは本当に良い環境になるように、事前に皆さんの話を聞きながらスピーディーにやっていきたいと思いますので、また色々聞かせていただければと思います。よろしくお願いします。
22	継立小学校区会場	この計画が出る前に、保護者に確認やアンケートなどなかったと思うんですが、今後は保護者に確認やアンケートをとることは考えておりますか？	学校教育課主幹	はい、その様に考えています。例えば、スクールバスを例にあげると、こういう風に決まりましたという説明ではなく、事前にこういうことを考えてますがどうですか？と意見を取りながら進めていきたいと思っております。先ほどのスライドで地図を示しましたが、大体皆さんどこに住んでいて、きっとここであればこういうこと困るだろうなということは想像がつくのですが、言っていたかかないと気づけない部分がありますので、事前にきちんとそういうことを取りまとめるため、皆さんとキャッチボールをしながら、進めたいと思っておりますのでその時はまたご協力よろしくお願いします。

栗山町立小中学校適正配置計画説明会 質疑応答

No.	会場	質問内容等	回答者	回答
23	継立小学校 校区会場	この継立小学校の中で、学年が変わる毎に先生方の負担が大分しんどいということは、よく耳にしている。ニュースでも聞いていることですが、例えば、統廃合を行うことによって先生たちの負担はどのようにっていくのか。	教育長	統廃合は当然、通常時に比べたら負担は出てきます。避けて通れません。これは普遍的なもので昔も今も変わらないと思いますが、なるべく機能的に行おうという試みはできます。なぜならば、他の地域は統廃合が既に終わってるところがほとんどで、そういった先進地域の流れとはどこも大した変わりません。そういうことを色々と参考にしながら行うことができるので、そういうメリットがこれから統廃合を行う地域にはあります。先進的に統廃合している地域は本当に大変です。私も経験ありますが、、、。 あと1番大変なのは引っ越しで、物理的な時間と体力が必要になってきます。ただし、今の継立小と角田小の児童を合わせて80名と考えたら、道具が古いなどは別として、賄えていける中身にはなっているかと考えられます。来年の4月に向けてすすめている栗沢小学校と中学校の統合については、中学校が小学校に全部入るということで大変なのではないのでしょうか。 また、長沼町の義務教育学校がちょうど工事に入り始めました。中学校の体育館を壊して着工されていくかと思いますが、丸ごとになりますので大変かなと思います。なるべくコストをかからないようにすると大変になってきます。人的労力がかかるので。 ですから、栗山町は、児童数的な部分から言えば、他の地域よりはまだ楽かなと。ただし、負担は当然かかってくることになりますので、そこはやむを得ないというのが現状です。 教育委員会としては、働き方改革がありますので、物理的な時間の能力を学校外で使わせないようにしようということ。空知の中では栗山町の働き方改革は進んできてますから、そういう形で話し合いながら進めていきたいというところが正直なところ です。
24	角田小学校 校区会場	この説明については、理解して欲しいという事なのでしょうか。それとも、ここからこの説明がひっくり返る事はあるのでしょうか。	教育長	今までの説明会でも、反対意見は数件でした。町としては、この方向で進めさせていただきたいという気持ちで臨んでおります。
25	角田小学校 校区会場	合併と小中一貫は、本来一緒にスタートするべきだと思うのですが、校舎の老朽化についてはわかっていたのに、どうしてずれてしまったのでしょうか。	教育長	私が教育長に着任した時に初めて「統廃合をいつになったら始めるのか。」という意見が出始めました。また、他の地域を含め、統廃合の意見が多くなってきたので、町として統廃合問題に真剣に考えなければならないという状態でしたが、その時点では校舎改築という話は一切出ていませんでした。 それよりも、子どもたちにとってどのような学習環境が望ましいのかという点が、重点的に出てきたものですから、そちらを先に進めているというのがこの1年間のスケジュールとなっています。
26	角田小学校 校区会場	子どもたちのためという事をお話いただきましたが、子どもたちの意見を聞く予定が今後あるのか？もしくは、聞き取りはもうされたのでしょうか。	教育長	公式に意見を聞き取っていません。例えば1年生に聞いても判断できないと思います。ただ、家庭でそういう話は出てくるかと思っています。高学年では、ある程度の意見がでてくると思うので、日常生活の中で聞いていただければ嬉しい、やっていただきたいという話をしていたところです。

No.	会場	質問内容等	回答者	回答
27	角田小学校 校区会場	—	教育長	将来的にコンパクトな児童生徒数になってしまいます。例えば、小学校が１クラスになってしまったら、１クラス規模の学校しか建てられないのです。今このタイミングで実施すると、最低でも２クラス規模の学校が建てられる事になります。先程説明しましたが、近年では色々な特色のある学校予想図があり、町民の皆さんも様々な形で使える学校に作り替える事ができます。 もう１つは、今、小小連携という３校集まって様々な活動をしています、どうしてもたくさんの回数を持つ事が出来ません。カリキュラムについて、例えば、国語・算数なら１７５時間以上を５年生で必ず行うという国のルールがあり、これを行うしかありません。さらに小小連携を進め様々な教科等において授業できれば良いのですが、現状としては時間がかかってしまいます。そのような中でも、先生方も一生懸命、工夫しながら進めてくれています。 このような現状で、３校で進めるより、１校の方が機能的に活動することができ、クラス規模を保つことができる。例えば、２クラスならクラス編成ができるなど、子どもたちにとって様々なメリットが１つでも多くなるように物事を進めていきたい。また、今課題であるものを１つでも減らしながら進めるというのは、将来も変わらない考え方です。 また、１人１人に対する教育予算の問題も出てきます。町の人口が、１０年後７千人から８千人台になってきます。その時に、今と同じ話はできても同じ事はできません。なぜなら、町の財政規模は絶対に減って小さくなってしまいます。今の栗山町は、まだ色々な地方交付税が入ってきて体力があり、様々なことを手掛けています。病院も建築中です。この中で学校だけ先にやると、現金を持ち出さなければならない、国からお金を借りなければならないと色々な条件が重なっていますので、一緒にできないという話になってきます。 ただし、この課題は後に回すわけにはいかない重要な話であることから、早急に役場内としても町の財政と色々なサービスが怠らないためにはどうしたら良いかと考えながら、どのように早めていくのかという研究も併せてさせていただきたいという話になります。 １つだけ特化して何かできるというものではないです。今は高齢化社会ですから、福祉ではどんなサービスができるだろうか、こういう事をもっとできないだろうか。という事も検討していきます。将来を担う子どもたちの為に、後回しする事はできないという決意で町長はいます。 ですので、これから皆さんと進める作業は都度公表し、良い所を見つけながらやっていきたい。でも、コンパクトにするために、皆さんの協力は当然いただきます。そこで、落としどころをつけながら、みんなで協力して子どもの生活を守っていくことを、前向きに検討させていただければ大変ありがたいという事の意味合いだけは、皆さんにご理解をいただければ助かりますので、どうぞよろしくお願いいたします。
28	栗山小学校 校区会場	今後の児童生徒数等を考えると統廃合は仕方ないかなと思う。	—	—